

神ト協

神奈川県トラック協会は韓国・京畿道のトラック事業者団体と友好協約を締結し、今後情報交換や相互の一層の交流を図っていく計画だ。

10月10日、吉田修一会長と藤木幸二、飯沼健史、東海林憲彦、高橋英樹の各副会長らが訪韓。首都ソウルから車で1時間ほどの京畿道貨物自動車運送事業協会（チョン・ジェボム理事長）を訪ね、吉田氏とチョン理事長が対談し両協会の相互理解を促進するため友好協約を締結した。

また、両国のトラック業界の現状と課題に関する情

韓国トラ団体と友好協約 吉田会長ら現地を訪問

報交換が行われ、人手不足への対応や駐車問題対策など、双方が抱える諸問題について説明。その後、歓迎

23年11月に神ト協を訪問しており、神ト協正副会長と懇談。その際に京畿道協会側から友好関係を構築したいとの提案があり、今回の訪韓と協約締結が実現した。

京畿道はソウルに隣接するベッドタウンで、日本の「県」に相当する行政区。京畿道協会の会員数は2100者で、車両5万8千台を保有している。

（吉田英行）

京畿道協会のチョン理事長（左から4人目）と神ト協の吉田会長（右隣）ら

